

矢島茶会十年のあゆみ

- 第一回 平成 14 年 5 月 19 日
講演：『日本のゆくべき道』
遠州流宗家 紅心 小堀宗慶
- 第二回 平成 15 年 5 月 10 日
公演：ピアノトリオコンサート in 龍源寺
チェロ 山本祐ノ介
ヴァイオリン 福崎至佐子
ピアノ 美木よし子
- 第三回 平成 16 年 6 月 5 日
講話：『茶の湯から見た日本の心』
遠州流宗家十三世 小堀宗実 家元
- 第四回 平成 17 年 6 月 26 日
講話：仏教講話会『心に花を咲かそう』
京都清水寺貫首 森清範 狛下
- 第五回 平成 18 年 6 月 25 日
公演：筑前琵琶の夕べ『平家物語へのいざない』
筑前琵琶 上原まり
- 第六回 平成 19 年 6 月 17 日
公演：コンサート『思い出の歌 こころの歌』
ソプラノ歌手 下垣真希
- 第七回 平成 20 年 5 月 18 日
『高松友好都市締結 10 周年記念事業』
講演：遠州流宗家 小堀宗慶宗匠 『出会い』
公演：ピアノトリオコンサート
チェロ 山本祐ノ介
ヴァイオリン 福崎至佐子
ピアノ 榊原紀保子
- 第八回 平成 21 年 5 月 17 日
公演：朗読の夕べ『ちいさこべ』
朗読 藤堂陽子（女優） 音楽 鯛家猫輔
- 第九回 平成 22 年 5 月 16 日
公演：一調一管『邦楽への誘い』
鼓 藤舎呂英 笛 藤舎正生

第十回 矢島茶会

一調一管 邦楽茶舞台

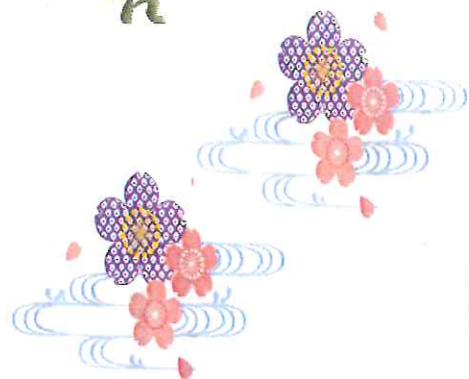
講 話

遠州茶道宗家一三世家元

不傳庵 小堀宗実

公 演

鼓 藤舎呂英
笛 藤原徹彦





遠州茶道宗家13世家元
不傳庵 小堀宗実

昭和三十一年九月十七日、遠州茶道宗家十二世小堀宗慶の長男として生まれる。
昭和五十四年学習院大学法学部卒業の後、臨濟宗大徳寺派桂穂禅院にて、大徳寺五一八世福富以清禅師のもとで禅の修業を積み、昭和五十六年、師より「宗以」の号を授かり、昭和五八年に副家元に就任。
平成一二年大徳寺派管長福富雪底大老師より、不傳庵宗実の号を授かり、平成一三年元旦より、三世家元を継承する。
「茶の湯を通して、心を豊かにする」をモットーに、伝統文化の普及と精神文化の向上、青少年の育成・地域づくりなどの社会貢献に尽力。海外においても積極的な文化交流を行っている。

講 話

「矢島茶会十回を迎えて」

公 演 演 目

春 の 宴

飛 翔

ま ぼ ろ ば



鼓 藤 舎 呂 英

宗家藤舎せい子に師事し、没後は六世家元、藤舎呂船に師事。
東京芸術大学音楽学部を卒業後、「藤舎呂英」の芸名を許される。
現在、国立劇場「明日をになう新進の邦楽と舞踊」、「花形・名作舞踊鑑賞会」の囃子を担当。
その他、放送・舞台（舞踊公演・長唄演奏会、等）
・海外公演の他、鼓のソロ演奏や、琵琶、琴、声
明、ピアノ、フルートなどジャンルを越えた様々な楽器とも演奏活動を行い、新曲の作調も多数行っている。
平成十六年、アテネ五輪シンクロナイズドスイミング日本代表チーム競技曲で、小鼓を演奏。
平成十八年 日本伝統文化振興財団賞 受賞



笛 福 原 徹 彦

十歳の頃より、六代目福原百之助師に笛を師事する。
十二歳で師の笛のリサイタルを助演。
十六歳で福原徹彦の芸名を許される。
その後、東京芸術大学 音楽学部 別科を修了し、平成七年、神職の資格（直階位）も取得。
平成九年、歌舞伎フランス公演に出演（雀右衛門文、言十郎文出演）。
平成十六年、NHK教育番組「いろはに邦楽」で横笛を担当。
平成十年、二十一年、国立小劇場に於いて福原徹彦リサイタルを主催。
現在、歌舞伎、邦楽演奏会を始め様々な分野に挑戦、多数のアーティストと共演している。

